

市長と語る会(高尾住民自治協議会)

平成27年8月28日(金)午後7時30分～午後9時
高尾地区市民センター

項目	市民の皆さんからいただいた主な意見等	その際の回答要旨
地域福祉について	<p>総合的な生活の拠点センターとして、デイサービスセンターを開設していきたいと考えている。</p> <p>この地域は高齢化率が51.7%である。地区によっては、共同作業に出ることができる人がいない状況になってきた。</p> <p>少子化に対して、第3子の保育料無料化や中学生までの医療費無料化という話はあるが、高齢化に対する市の福祉の取り組みが見えてこない。</p>	<p>7月14日に、青山保健センターで第3次地域福祉計画のタウンミーティングを開催しました。タウンミーティングは、市内7箇所で開催しましたが青山地区の方の参加が多くご意見も多くありました。それだけ喫緊の課題だと思っていただいていることだと思います。</p> <p>9月3日には審議会がありますので、今後第3次地域福祉計画に反映していきたいです。また、総合計画・再生計画の重点プロジェクトにも、地域包括ケアシステムの構築を掲げています。</p>
避難所について	<p>公共施設最適化計画では、高尾のグラウンド、体育館が縮小の方向である。市の防災マップを見ると、ほとんどの民家の裏側が土石流の危険個所になっている。</p> <p>以前の話では、市民センターを避難所にすると言っていたが、大きな災害時には、住民350人が避難しなければならない状況も出てくるのではないかと考えている。その際には、体育館のような施設がほしい。</p>	<p>公共施設最適化計画は、地域の皆さんとの話し合いの中で進めていかなければならないと思っています。</p> <p>身の安全を守るには、決められたところへ行くことも大事ですが、まずその段階において、自らを守るにはどうしたら良いのか、地区なり、近所なり、家族で考えておくことが大事だと思います。</p>
地域公共交通網形成計画について	<p>計画にあるように、地域が育み地域に根差した持続可能な交通体系を地域と協力して検討、展開するという事なので、これを具体化して、早く示していただければ、我々も協力できると思う。交通の確保は大切である。</p>	<p>交通体系は、三重交通の営業路線バス、廃止代替バス、地域コミュニティバスのほかに、地域運行バスがあります。</p> <p>地域運行バスは、自治協が事業主体となって、ルート、運賃を自ら決め、運行会社に委託し、そして、市は運行に対し一定の補助をするという新しい制度を新年度に実現できればと考えています。</p> <p>個別にサポートするほうが、効率的であったり、有益であったりしますので、精査していただければならないと思います。</p>
公民館の建て替えについて	<p>公民館建設補助金の募集要項をいただいた。下高尾で2件提出したが、各区で申請は1件しかできないため、1件取り下げしてほしいと言われた。募集要項にも、きちんと書いていただかないと困る。</p> <p>今からでも検討してくれるのなら、再度提出するが、そういう配慮はできるのか。</p>	<p>募集要項には、1件にしてくださいという記載をしておらず申し訳ございません。たくさんの方の地域から申請を受けた中で、予算の範囲内で補助させていただくということが基本的な考え方ですので、次年度でお願いします。</p> <p>公民館の補修、改修は優先順位を付けて実施する必要があります。地域の中で老朽度の高い公民館から申請を出していただきたいと思います。</p>

<p>公共施設最適化について</p>	<p>体育館が避難場所になっているが、仮設トイレが一つあるだけである。持つところもないし、高齢者には不安である。足が不自由になってくると、小学校の和式トイレでは難しい。今年もそこで敬老会をするので、トイレが不便である。どうにかならないか。</p>	<p>公共施設の最適化は、皆さんとの話し合いですので、課題のあるところは早く実施していかなければならないと思います。 スポーツ振興課が所管になっていますので、支所と一緒に地元と協議することになっています。</p>
	<p>体育館は、雨漏りがひどい。天井がいつ落ちるか分からない。漏れているところから分らず、素人では直せない。公共施設適正化計画に入っているが、雨漏りだけでもなんとか修理できないか。</p>	<p>トイレの話も同じです。どうするか、早速考えていかなければなりません。皆さんにもどれぐらいのことをしていただけるのか、いろんな可能性を話し合わなければいけないと思います。</p>
<p>観光の振興について</p>	<p>市長には、忍者で活躍をいただいている。観光戦略課を立ち上げ、頑張ってもらっている。 高尾には藤原千方の伝説がある。千方伝承会を立ち上げ8年になる。観光協会が一本化されたので、ご指導もいただきたい。忍者行事とともに藤原千方の伝説の地にもリンクしてほしい。</p>	<p>観光協会が一本になったことは良いことだと思っています。今までは、阿保のほうに良いところがあっても、テリトリーが違いましたが、これからはコースを設定したりすることもできると思います。千方の岩屋をルートに組み込んでいくことも大事だと思います。</p>
<p>南庁舎の利活用について</p>	<p>だんじり会館の土産物売り場あまり売れていないように思う。市役所南庁舎の跡地は、特産品を販売するなど、お金を儲ける場所にしていただきたい。</p>	<p>南庁舎の場所は大変良い場所です。観光のインフォメーションセンターあるいは情報の発信機能を充実させます。物産販売は市駅前の方が良いのかもわかりませんが、いずれにしても観光の情報発信機能は外せないと思っています。 若い人の定住策として、先日から企業まわりして、伊賀市に足りないものは何かを聞いていますが、伊賀市には楽しめるものがない、また、調べものをするには、奈良まで行くという声もあります。高校生は交流する場所や勉強する場所が欲しいと言っています。若い人たちが交流する場所、知的な将来への人づくりに資することができるスペースも必要です。 観光と市民交流の場所が複合的にあればいいのではないかと考えています。あの場所は、夜遅くまで明かりが灯っている場所にしたいと考えていますので、皆さんの意見をまとめて、良い施設にしたいと思っています。</p>
<p>市町村合併について</p>	<p>ここは上野から20数キロ離れている。経済圏は名張である。プレミアム商品券を大型店で使う場合は上野へ行かないといけない。名張市との合併はないのか。</p>	<p>昔から伊賀は一つにならないといけないと思っています。生活圏は一つです。伊賀市と名張市は一つにならないと本当の力は発揮できないと思っています。一緒にやっつけられる部分は一緒にやっつけなければなりません。定住自立圏構想で、名張市、山添村など一緒にしていく方向です。</p>

<p>審議会委員の年齢制限について</p>	<p>審議会の委員について、伊賀市では70歳までという制限がある。どういこと、70歳になっているのか。70歳を過ぎたら市民でないのか、あるいは間に合わないという意味か。どうにも納得できない。名張市では年齢制限を設けていない。</p>	<p>公募であるのに年齢によって応募できないのはいけません。審議会での経験や特殊なことで、この人というのであれば、仕方ありませんが、公募で応募できないのは、年齢による差別だと思います。担当課で改めるようにさせます。</p>
<p>住民自治について</p>	<p>福祉、防犯が大切だということで、自主防災組織、地域ケアネットワーク会議も立ち上げた。去年は多面的事業も高尾で立ち上げた。その前は、成人式の実行委員会にも入った。年々、かかわる事業が多い。市からいろいろ言ってくれるが、小さい地域では飽和状態である。</p>	<p>自分たちのことは、自分たちでしていただくことが大事です。来年は、自治について勉強していただけるような研修制度を設けたいと思っています。手上げ方式になるとは思います、皆さんに研修を受けていただけるよう予算化していきたいと思っています。</p>